

令和4年度 釜石市立鶉住居公民館運営結果

I 運営方針・重点目標

1 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

令和4年度は、東日本大震災から10年が経過し地震等の自然災害に備えた防災、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、新しい生活様式の下、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え、事業実施に努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業実施に努める。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業報告

1 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鶉住居子育て広場 芳賀	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	保健講話、計測（身長・体重）、おもちゃ遊び、制作など 〔時期〕 ① 6/23（木） 30人（親15人、子15人） 同日に2回に分けて実施 ② コロナ第7波の影響により中止 ③ 10/27（木）1歳未満 8人（親4人、子4人） 11/4（金）1歳以上 9人（親4人、子5人） 参加者延47人 〔場所〕 鶉住居子育て支援センター 〔対象〕 未就学児と保護者
			【成果と課題】 コロナ感染予防のため、1回目の際は同日に2回に分けて実施し、3回目の際は同じ内容を年齢で分けて2回実施した。初めて子育て支援センターを利用した方は、その後も継続的に利用している。

2 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの 子育てへの支 援	わんぱく 子ども教室 植田	交流・学び・気づきの 場を設ける。	〔時期〕 ① 8月9日（火） アロマワックスバー作り 10人 ② 1月10日（火） 卵で実験！フッ素のはたらき 2人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 小学生
	釜石東中学校 学習サポート 植田	目標に向かって学び続 ける土壌を育むため、 受験対策を目的とする 学習機会を提供する。	〔時期〕 ①夏休み：7/25（月）、8/2（火）、 8/3（水） 参加延人数 22人 ②冬休み：12/26（月）、 12/27（火）、1/6（金） 参加延人数 64人 〔場所〕 鶴住居公民館、釜石東中学校 〔対象〕 釜石東中学校生徒
	【成果と課題】小学生の夏休みと冬休みを利用して実施した。冬休みの参加者は 少なかったが、全体を通すと学年を超えた交流を促すことは出来ている。今後の 課題としては、参加人数の増加だが、魅力的なメニューと小学校や学童育成クラ ブと連携が重要と考える。		
【成果と課題】受験を控える中学3年生を対象に、鶴住居公民館で行われた夏季 開催においては受験に挑む気持ちを持たせることができた。また、東中学校で行 われた冬季開催では間近に控える受験への士気を高めることができた。 （一社）子どものエンパワメントいわてに講師派遣をし、普段と違う環境で勉強 をすることで、学力向上の効果が見込まれることから、継続して開催したい。ア ンケートの結果では、学習サポート事業を通して受験への意気込みが感じられ、 今後も継続が望まれる事業である。			

3 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢 者の健康づく り	各種健診等の 推進 芳賀	健康教室等の事業や公 民館だよりに啓発記事 を掲載し、各種がん検 診、特定健診等の受診 勧奨や指導を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館等 〔対象〕 鶴住居地区住民
	あつまれ！鶴 住居の杜 植田	地域に安定した交流機 会をもち、閉じこもり 予防、心身の健康と学 びの機会を設ける。	〔時期〕 原則毎月1回開催 4/28（木）、5/26（木）、6/23 （木）、7/28（木）、9/29（木）、 10/27（木）、11/24（木）、12/22 （木）1/26（木）、2/22（水） 3/23（木） 参加延人数 114人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民

	<p>健康教室 芳賀</p>	<p>交流・学び・気づきの 場を設ける。</p>	<p>①桑の浜健康教室 〔時期〕3ヶ月に1回開催 7/12(火)、9/13(火)、 12/13(火)、3/7(火) 参加延人数 19人 〔場所〕桑の浜集会所 〔対象〕桑の浜地区民</p> <p>②室浜健康教室 〔時期〕3ヶ月に1回開催 ※市：7/13(水)、9/14(水)、 11/9(水)、2/8(水) 参加延人数 16人 体育協会：10/12、12/14、3/8 〔場所〕室浜集会所 〔対象〕室浜地区住民</p> <p>③仮宿健康教室 〔時期〕年1回開催10/12(水) 6人 〔場所〕鶴住居公民館仮宿分館 〔対象〕仮宿地区住民</p> <p>④女遊部健康教室 〔時期〕年1回開催 6/28(火) 9人 〔場所〕女遊部集会所 〔対象〕女遊部地区住民</p> <p>⑤両石健康教室 〔時期〕年2回開催 6/13(月) 7人 2/13(月) 人 〔場所〕両石復興住宅集会室 〔対象〕両石地区住民</p> <p>⑥白浜すいすい会 〔時期〕9/21(水) 6人 〔場所〕箱崎白浜集会所 〔対象〕箱崎白浜地区住民</p> <p>⑦外山健康教室 〔時期〕10/31(月) 12人、 11/21(月) 6人 〔場所〕外山集会所 〔対象〕外山地区住民</p> <p>⑧新川原健康教室 〔時期〕11/7(月)、12/20(火)、 1/25(水)、2/22(水) 参加延人数 25人 〔場所〕鶴住居復興住宅戸建てB地区集会所 〔対象〕新川原地区住民</p>
<p>【成果と課題】各種健診等の推進については、公民館だよりや公民館事業等で声掛けをおこなった。直接声をかけると「あー、忘れてた。」という声もあったため、来年度も引き続き行っていく。 『あつまれ！鶴住居の杜』は、徐々に参加人数が増えてきている。また、新規での参加者も増えてきており健康教育、健康講話や住民同士の交流の場となってい</p>			

<p>る。住民目線で考えた内容や周知方法の効果があつた。参加者の高齢化に伴い、無理のない範囲で住民にどれだけ興味を持ってもらえるような内容にするかが今後の課題となる。</p> <p>健康教室は、公民館に来館することが難しい地区を対象に、保健師や専門職の協力を得て開催している。今年度は、生活習慣病を中心に「血液サラサラ」、「野菜を食べて健康生活」、「高血圧について」、「認知症について」、「骨粗鬆症について」等の講話を行ってきた。今すぐ手軽に実践できるのは、食事の工夫のため、食事について中心に説明をした。来年度は、脂質異常症やメタボリックシンドロームについても触れていきたい。</p>		
<p>おさんぽの会 柴又</p>	<p>健康づくり・生活習慣病等の知識の啓発と運動機会を通し住民交流の機会を提供する。</p>	<p>〔時期〕 毎週火曜日 参加延人数 95人 (1月末現在) 〔場所〕 長内集会所近辺 〔対象〕 鶴住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】 公民館職員による事業と自主活動としての活動を組み合わせて開催している。(実績は公民館職員が支援した計16回の合計人数) 尚、自主活動時は参加者が歩道の清掃(ゴミ拾い)を行っており、地域貢献の意味合いも込めた活動内容になっているので、今後も主体性を持った活動促進をサポートとする。</p>		
<p>各種百歳体操の会 今野</p>	<p>100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。</p>	<p>① 鶴住居復興住宅2号棟 イケイケ会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 鶴住居復興住宅2号棟集会所 〔対象〕 鶴住居復興住宅2号棟の周辺住民</p> <p>② 箱崎地区 ほっぴすてっぴくらぶ 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 箱崎集会所 〔対象〕 箱崎地区住民</p> <p>③ 片岸きらきらクラブ 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 片岸集会所 〔対象〕 片岸地区住民</p> <p>④ いきいき鶴住居 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民</p> <p>⑤ 桑の実クラブ 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民</p> <p>⑥ ニコニコ室浜 〔時期〕 毎週月・金曜日 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民</p> <p>⑦ 白浜すいすい会 〔時期〕 隔週水曜日 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民</p>

			⑧川目笑生会 〔時期〕毎週水曜日 〔場所〕川目集会所 〔対象〕川目地区住民 ⑨スマイル日向 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕日向復興住宅集会所 〔対象〕日向地区住民 ⑩両石若人の会 〔時期〕毎週土曜日 〔場所〕県営両石アパート集会所 〔対象〕両石地区住民 ⑪外山地区（団体名検討中） 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕外山集会所 〔対象〕外山地区住民
	【成果と課題】 コロナ禍ではあるが、感染対策を行いながら意欲的に活動している。日向地区、両石地区、外山地区で新たに活動団体が発足した。口腔ケアの体操も、今年度から3団体開始した。一方で、持続的な実施が難しくなってきた団体もある。口腔ケアや認知症予防等を取り入れながらマンネリ化の予防を図り、活動が継続できるよう、また、健康で充実した生活が送れるよう支援する。社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携を図り、百歳体操の啓発や新たな活動団体の開拓を行っていく。		
	すまいるウォーキング 小澤	正しい姿勢でのウォーキングで鶴住居地区内、または釜石地域のウォーキングスポットを歩き、鶴住居地域住民間の交流、健康維持の機会を設ける。	〔時期〕毎月第1木曜日（雨天翌日） 〔場所〕鶴住居地区等 〔対象〕鶴住居地区住民 参加延人数 117名、開催数 9回 （R5年1月末現在）
	【成果と課題】 コロナ禍でもできる活動ということで始めた事業である。おさんぽの会とは差別化を図るため、長い距離を歩くことを前提としており、回数を重ねるごとに参加者が増えてきている。下見の段階で参加者から希望者を募り、コースの確認も一緒に行っており、参加者同士が声を掛けながら、少しずつではあるが、主体的に活動できるようになってきていると感じている。		
芸術文化活動の推進	ふるさと探訪 植田	地域の自然、歴史や文化を知り、地域の資源を再認識する機会を提供する。	① 鉄の街釜石再発見 〔時期〕7/28（木） 〔場所〕午前：釜石市郷土資料館 午後：釜石市立鉄の歴史館 6人 〔対象〕鶴住居地区住民 ② 釜石市学校給食センター施設見学及び試食会 〔時期〕2/7（火） 〔場所〕釜石市学校給食センター 12人 〔対象〕鶴住居地区住民

<p>【成果と課題】</p> <p>1回目は、市内で新型コロナウイルス感染症が急速に感染拡大した影響で、参加者は少なかったが、感染防止対策をしっかりとらううえで開催した。見学先の中には、前公民館長の異動先でもある鉄の歴史館もあり、参加者は鉄の街釜石を学ぶことができたと共に、久しぶりの再会を喜んだ。</p> <p>2回目は、令和2年度から鶴住居地区に移転新築した釜石市学校給食センターで、施設設備や衛生管理について、また地産地消についての現状を学ぶことができた。見学と併せて給食の試食会を行うことで、食育への関心を高めてもらい、自分の食生活の振り返りや見直しにつなげることができた。</p>		
<p>鶴住居 交流講座 植田</p>	<p>地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。</p>	<p>手芸や工芸などの幅広い分野の講座を開催する。</p> <p>〔時期〕</p> <p>①草木染め体験 12/16(金)、15(木)に準備作業 参加人数 5人</p> <p>②草木染め体験 1/20(金)、19(木)に準備作業 参加人数 5人</p> <p>〔場所〕鶴住居公民館</p> <p>〔対象〕鶴住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】昨年度実施し、参加者から好評であったことから、今年度は2回実施した。昨年度から継続しての参加者も見受けられたが、新規での参加者も多く見受けられ、住民に事業への参加意欲を持たせることができた。また、昨年度の経験を活かし、当公民館の職員が講師を務めたことにより、参加者も緊張することなく、相互のコミュニケーションを深めることができた。</p>		
<p>出張公民館 事業 松下</p>	<p>鶴住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。</p>	<p>箱崎町内会を対象にニュースポーツ体験としてポッチャ体験会を開催した。</p> <p>〔時期〕 11/20(日) 参加人数 15人</p> <p>〔場所〕箱崎集会所</p> <p>〔対象〕箱崎町内会</p>
<p>【成果と課題】今年度は、災害、コロナ禍により開催が延び延びとなっていた箱崎町内会を対象に出張公民館を開催。内容はポッチャを体験したことがないとのことで、ニュースポーツ体験としてポッチャ体験会を開催した。参加者は終始笑顔や笑い声が絶えず、それぞれ応援や激励の声も上がり、地域住民の交流を図る場として一定の成果は上げられた。また、管内町内会あてに出張公民館の案内を送付し、開催団体を募ったが、どこからも応募がなかった。来年度は、公民館事業への参加が少ない地域での開催を検討する。</p>		
<p>鶴住居の歴史 を語る会 松下</p>	<p>昔の鶴住居を思い出し語り合うことで、参加者の交流を図るとともに、重要な歴史資源を残し、語り継いで行く。</p>	<p>見学会と座学を1回ずつ開催した。</p> <p>◎国史跡 屋形遺跡見学会</p> <p>〔時期〕 11/22(火) 参加人数7人</p> <p>〔場所〕唐丹町大石</p> <p>〔対象〕鶴住居地区住民</p> <p>◎鶴住居の郷土芸能について</p> <p>〔時期〕 2/21(火) 開催予定</p>

			〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	<p>【成果と課題】今年度3回の開催予定であったが、下期に公民館事業の開催が集中したことから2回の開催とした。屋形遺跡については、昨年度座学で屋形遺跡の価値について学び、今年度は現地見学の開催を予定とのことで、予定どおり開催したが、見学会への参加申し込みが芳しくなく、ほかの公民館事業参加者への声掛けにより何とか7人集めることができ、事業の体裁を整えることができた。今年度2回目の鶴住居の郷土芸能についても、参加申し込みが芳しくない状況である。事業自体が「ふるさと探訪」と似通っており、今後は統合することの検討も必要と考える。</p>		
男女共同参画の推進	男の手料理教室 芳賀	男性の交流機会の一つとしながら、健康づくりや食生活の改善を進めることを目的とする。	<p>交流する機会の提供及び食生活を見直し栄養や健康に関する知識の啓発を図る。</p> <p>〔時期〕 4/13（水）、5/11（水）、6/1（水）、7/6（水）、8/3（水）、9/7（水）、10/5（水）、11/2（水）、12/7（水）、1/13（水）、2/1（水）、3/1（水） 参加延人数 68人</p> <p>〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の男性</p>
	<p>【成果と課題】コロナ禍により、調理後は調理品を家に持ち帰っていたが、9月からは従来どおり、調理後に参加者全員で食事することとした。また、食中毒防止の観点から、8月は釜石地方森林組合を講師に招き地域産木材を使った、プロが教えるDIY教室（テーブル作成）を実施した。1月には、おーい！むかしっ子教室との共催事業を実施し、料理教室のメンバーには、みずき団子の仕込みやきらず団子作り、みずきへの飾り付けなどによる小学生との交流を行った。メンバーは、普段はできない交流に「疲れたなあ。」という発言はあったものの、達成感にあふれていた。今後も機会があれば、料理教室のメンバーが活躍できる場の提供をしていく。回を重ねるごとに、参加者同士の関係性も深まり、お互い気軽に話し合うなど、交流の機会づくりとしての一定の成果はあがっているものと考え。料理の手際も良くなり、自分たちで考えて行動ができるようになってきていることから、将来的に自主活動サークルへの移行も視野に入れながら事業を継続していきたい。</p>		
高齢者の生きがいがづくり	実年ひろば 植田	年間で複数回の学習内容を自ら決定して自主的な生涯学習活動に取り組むものとし、住民同士の交流や、生涯学習意欲の向上に資することを目的とする。	<p>手芸・料理など「趣味による生きがい」づくりにつながる講座を開催する。</p> <p>〔時期〕 6/3（金） 出前講座「お茶っこサロン～地球のうらがわ～」 27人</p> <p>〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の女性</p>
	<p>【成果と課題】会員内で企画立案、事業運営等を積極的に行うことが出来ている。今後も会員内で自主的に取り組むことができるようサポートする。</p>		

4 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい 公民館まつり 松下	公民館利用団体の発表の場とし、鶴住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	新型コロナウイルス感染状況を鑑み作品展示会のみ開催 〔時期〕 11/25（金）～11/30（水） 参加延人数 100人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】新型コロナウイルス感染症の感染状況がなかなか収束に向かわないことから、最低限での規模で開催することとし、作品展示会のみ開催した。作品展示会の開催のみとはいえ、楽しみにして来館した住民も多かったことから、来年度の感染状況はどうなっているかわからないが、感染予防対策をしっかりとした上で本格的に開催できる方法を検討する。		
交流の場の創出	市内公民館交流 事業 松下	手芸・工芸体験教室やニュースポーツ運動会を通じて、隣接する両地区の住民の交流・親睦を深める。	すまいるウォーキングとの共催で、栗橋地区と唐丹地区住民とのウォーキングを実施し、参加した両地区住民との交流・親睦を深めた。 ◎栗橋地区 〔時期〕 8/4（木） 参加人数 12人 （内訳：鶴住居9人、栗橋3人） 〔場所〕 橋野町横内・古里地区 〔対象〕 鶴住居地区住民 栗橋地区住民 ◎唐丹地区 〔時期〕 10/6（木） 参加人数 33人 （内訳：鶴住居20人、唐丹13人） 〔場所〕 唐丹町片岸・小白浜地区 〔対象〕 鶴住居地区住民 唐丹地区住民
	【成果と課題】年1回の予定であったが、今年度新たな事業として立ち上げた「すまいるウォーキング」との共催として2回開催した。栗橋地区は本地区と同ブロックであることから、来年度も栗橋公民館との交流を主として、協議のうえメニューを決定する。また、ほかの公民館との交流事業も積極的に開催したい。		
	鶴住居 地域交流会 植田	新たな地域に定着した事業を目指し、幅広い年齢層を対象として交流を図る。	鶴住居小学校を活用し、地域住民との世代間交流会を図る。 〔時期〕 12/9（金） ポッチャ交流会 57人 （鶴住居小学校1・2年生47人、地域住民10人） 〔場所〕 鶴住居公民館

			〔対象〕 鵜住居小学校、鵜住居地区住民
	【成果と課題】 昨年に引き続き、小学生と地域住民の交流促進を目的に実施した。地域交流会としてポッチャを実施したが、地域住民も小学生も積極的に交流し、声を掛け合い、終始笑顔があふれる会となった。今後も継続して交流の機会を持つことが望まれていることから、実施内容や時期などは、学校と関係を密にして、早めに調整する必要がある。来年度以降もコロナ感染予防対策を行った上で交流会を継続したい。		
	陸中国鵜住居村 松下	使われていない農地等を活用し世代間交流を図る。	〔時期〕 ー 〔場所〕 鵜住居地区内 〔対象〕 鵜住居地区住民ほか
	【成果と課題】 農地の確保に奔走したが、鵜住居公民館から徒歩圏内での適地が見つからず、今後も事業実施が困難であることから、事業自体を廃止とすることとした。		
	おーい！むかしっ子教室 植田	地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子ども達に継承・伝承するとともに世代間の交流を図る。	小正月の伝統行事として「みずき団子作り」を行う。 〔時期〕 1/13（金） 鵜住居学童育成クラブ1～3年 14人 鵜住居地域住民 10人 鵜住居男の手料理教室メンバー 7人 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居学童育成クラブ 鵜住居地域住民 男の手料理教室
	【成果と課題】 地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子供たちに継承・伝承すると共に、世代間の交流を図ることを目的として始めた新規の事業。今年度は、小正月の伝統行事として「みずき団子づくり」を子ども達と地域住民とで行い地域に受け継がれてきた食文化や風習を伝承することができた。鵜住居地区の男の手料理教室との共催としたこと、また地域住民との「かるた大会」も併せて行ったことにより、世代間の交流を図ることもできた。今後も継続して実施することへの要望もあり、実施する際は、対象、実施内容、時期など、関係者と早い段階で協議する必要がある。来年度以降もコロナ感染予防対策を行った上で開催を継続したい。		
防災や生活環境に関する学習	鵜住居防災学習 松下	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	上期は、すまいるウォーキングとの共催により「防災ウォーキング」を実施した。 下期は、地区内町内会を対象として鵜住居地域会議との共催により防災学習講座を開催予定。 ◎防災ウォーキング 〔時期〕 9/1（木） 参加人数13人 〔場所〕 鵜住居町内 〔対象〕 鵜住居地区住民 ◎防災学習講座 〔時期〕 3月中旬

			〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区町内会
<p>【成果と課題】 上期は、すまいるウォーキングとの共催で防災ウォーキングとして実施した。ウォーキングコースを、東日本大震災津波時の釜石東中学校及び鶴住居小学校の生徒の避難ルートと鶴住居町内の津波災害緊急避難場所として、要所要所で説明を加えながらコースを巡ることで、津波避難の大切さを再確認するとともに、津波避難の意識付けが図られた。</p> <p>下期は、市防災危機管理課を講師に防災学習講座を開催予定。（避難所運営ゲームの予定）</p> <p>防災学習は同じ内容のものを繰り返し行うと事業自体が先細りしていくので、防災危機管理課の職員と相談しながらメニューを検討する。</p>			

5 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館 植田	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始は水道管凍結防止のため貸館休止） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人等

6 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会 松下	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 5/20（金）、2/20（月） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議会委員
	サークル代表者会議 植田	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 6/2（木） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとり」の発行 松下	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。（11/15号から紙面リニューアル） 〔時期〕 毎月1回 15日発行 〔対象〕 鶴住居地区住民
	自主サークル活動支援 植田	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：14団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり

	<p>鵜住居地域会議との連携 松下</p>	<p>鵜住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携しまちづくりを進める。</p>	<p>鵜住居地域会議との連携事業 〔時期〕 ◎釜石東中学校学習サポート 夏休み 7/25 (月)、8/2 (火)、8/3 (水) 参加者延22人 冬休み 12/26 (月)、12/27 (火)、1/6 (金) 参加者延64人 〔場所〕 鵜住居公民館、釜石東中学校 〔対象〕 鵜住居地域会議 ◎鵜住居防災学習 防災学習講座 〔時期〕 3月中旬 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区町内会</p>
<p>【成果と課題】「釜石東中学校学習サポート」及び「鵜住居防災学習」事業で鵜住居地域会議と連携して取り組んだ。 釜石東中学校学習サポート事業は、子どもたちの育成という面で、今後も継続が望まれる事業であることから、よりよいものとなるよう、学校、講師の先生と協議し内容のブラッシュアップを図りながら継続したい。 鵜住居防災学習事業は、3月中旬の開催を予定。</p>			
	<p>ボランティア団体等の受入 松下</p>	<p>関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域を支援する。</p>	<p>〔時期〕 随時 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】今年度は音楽の力によるコンサートへの共催のほか、早池峰高校と釜石市社会福祉協議会が開催した早池峰神楽等披露への協力、総務省主催事業の簡単!スマホ教室への共催により事業を開催した。今後、コロナ禍が終息に向かうにつれ、ボランティア団体等の受け入れも増えてくるものと思われることから、相談や依頼に応じて随時検討する。</p>			

7 コミュニティ支援員自主開催事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
被災地を取り巻く地域住民の交流機会の創出と地域コミュニティ推進事業の促進	<p>復興住宅 ひまわり会 柴又</p>	<p>被災者間の交流機会の創出、復興住宅世帯と地域（再建・既存）世帯との交流促進並びに介護予防的なサロン開催を行う。</p>	<p>〔時期〕 毎月第2（木）・第4（金） 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 復興住宅（集合・戸建）、再建世帯、既存世帯を含めた鵜住居地区住民 参加延人数 252人</p>
	<p>復興住宅 プランター 菜園野菜作り 柴又</p>	<p>復興住宅世帯（集合）に於、野菜作りや花を育て愛でる環境を整えプランターを活用した菜園設営。</p>	<p>〔時期〕 春季～秋季迄不定期開催 月1回程度 計7回 実施 〔場所〕 鵜住居復興住宅1号棟 花壇付近プランター設置箇所 〔対象〕 復興住宅世帯 参加延人数 39人</p>

	仮宿 ひだまり会 柴又	半島部限界集落ではあるが、地域での交流活動が皆無であることから介護予防的な交流サロン（高齢者）展開。	〔時期〕 漁業集落であることから繁忙期は休止とし年間を通し半年間程度の活動。計6回実施 〔場所〕 仮宿分館 〔対象〕 地域住民 参加延人数 26人
	【成果と課題】 現状、被災者と既存世帯との地域交流に特化した事業形態を模索しながら遂行できているが、今後、継続が懸念される半島部での地域交流サロンについて活性化（新規参加者を募る）の為にアプローチを図る。 現行の参加者よりお声がけ頂く事を含め、新規参加を促進すると共に、高齢者の居場所づくりと介護予防、交流機会を提供、推進とする。		

8 事業評価

- ① 事業評価と今後の課題
- ② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③				地域会議共催活動
④	団体の活性化	登録サークル数	活動参加者数	—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和3年実績	令和4年実績	増減率
講座開催数(主催分)	50回	55回	110%
参加者数(人数/1回)	10.5人	12.9人	123%
子ども世代の講座数	15回	6回	40%
大人世代の講座数	35回	49回	140%
地域会議共催活動	12回	6回	50%
登録サークル数	13団体	14団体	108%
活動参加者数(人数/1回)	7.8人	15人	192%
連携団体数	11団体	8団体	73%
連携事業数	8事業	11事業	138%

《変動の要因》

① 講座開催数について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により休止していた講座の再開、健康教室及び100歳体操実施団体の増加及び新規事業の立ち上げによる開催数の増。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う講座の中止、開催調整による開催数の減。

② 参加者数について

参加者数の取り方は、「子育て広場」、「わんぱく子ども教室」、「釜石東中学校学習サポート」「あつまれ！鵜住居の杜」、「おさんぽの会」、「すまいるウォーキング」、「ふるさと探訪」、「鵜住居交流講座」「出張公民館事業」、「歴史を語る会」、「男の手料理教室」、「実年ひろば」、「市内公民館交流事業」、「鵜住居地域交流事業」、「お〜い！むかしっ子教室」、「鵜住居防災学習」の平均値で算出している。

③ 地域会議活動について

例年共催している「釜石東中学校学習サポート」と「鵜住居防災学習」に協力を得て実施。
(回数を日数として算出)

④ 登録サークル数について

4月に新しく「鵜住居囲碁同好会」が登録したことによる増加が要因。

⑤ 連携団体、連携事業数について（主な連携先）

- ・ 「わんぱく子ども教室事業」・・・鵜住居小学校
- ・ 「釜石東中学校学習支援サポート」・・・釜石東中学校、(一社)子どものエンパワメントいわて
- ・ 「各種健康教室」・・・釜石市体育協会
- ・ 「男の手料理教室」・・・釜石地方森林組合、明治安田生命
- ・ 「あつまれ！鵜住居の杜」・・・社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、明治安田生命（2回）、社会福祉法人岩手徳栄会（三峯の杜）、
- ・ 「鵜住居地域交流会」・・・鵜住居小学校
- ・ 「おーい！むかしっ子教室」・・・鵜住居学童育成クラブ